



1. 非常変災時の行動等について

2学期が始まりました。今年の夏休みは、8月15日(火)夜にかけて、台風7号が近畿地方を縦断し、近畿や東海、中国地方を中心に大雨による被害をもたらしました。枚方市では、台風による土砂災害の危険性が高まったことから避難所開設準備の指示があり、8月15日(火)8時に市内25箇所(24校)の避難所が開設され、避難される方を受け入れる準備をしました。先日、枚方市教育委員会が、「非常変災時における措置」を改訂したことを保護者さまにお知らせしたところですが、再度、非常変災時の行動等について、お子様とご確認いただければ幸いです。学校は、引き続き、子どもたちの安全・安心を第一に、教職員一同力を合わせて取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

2. 9月は「いじめ未然防止啓発月間」です。

枚方市では、9月を「いじめ未然防止啓発月間」として、いじめの未然防止及び早期発見をめざした取組を推進しています。本校におきましても、「枚方市立津田中学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応に努めているところです。いじめは、その子どもの将来にわたって内面を深く傷つけるものであり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす、まさに人権にかかわる重大な問題です。本校では、教育活動のすべてにおいて生命や人権を大切にする精神を貫くことや、教職員自身が、子どもを一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、子どもの人格のすこやかな発達を支援するという立場で指導を徹底してまいります。

3. 全国で一番の暑さを記録

今年の7月27日(木)、枚方市では、気温が39.8度となり、全国で一番の暑さを記録しました。枚方市は、全国でも有数の暑い地域で、その要因としては、大阪市内のヒートアイランドで熱せられた空気が海風で流入し、生駒山系にぶつかって滞留するためと言われています。

このように酷暑が続く中でも、多くの子どもたちは、夏休みの間、部活動や勉強会などに取り組んでいました。一方、「夏バテ」ではないにしても、「暑くて何もやる気が出ない」、「夏休みの宿題に手がつかない」、と感じた人もいたのではないのでしょうか。「そろそろ宿題やろうかな」と思っていた矢先に、「もう宿題は済んだの?」とか、「早くやりなさいよ!」と言われると、「なんだか急にやる気がなくなってしまう」、こんな経験をした人も多かったでしょう。自分自身のやる気の問題として、「あの人のせいでやる気がなくなった」、「褒めてもらえないからやる気が出ない」というように、周囲に左右されるばかりではどうでしょう。面倒な物事を避けて通れるのならそれに越したことはありませんが、問題の解決を先送りにすればするほど、心は重くなっていきます。

江戸時代後期の農政家である二宮尊徳(にのみやたかのり<そんとく>)は、『遠きをはかる者は富み、近きをはかる者は貧す』という言葉を残しました。日常にある小さなやるべきことの一つ一つを自分の将来(進路)に結び付けることは難しいかも知れませんが、もし、「やる気が出ない、でも、このままではいけない」と思ったら、現状を打開するために、まずは、自分ができる何かしら小さなことからでも着手してみてもいかがでしょうか。その小さなことを積み重ねいくと、少しずつでも前に進むことができると思います。